

## 第4次赤磐市行財政改革大綱（素案）に対する意見募集（パブリックコメント）の結果

### ■ 募集期間

令和2年12月18日（金）から令和3年1月4日（月）まで

### ■ 意見の件数

6件

4 ページ 2 行財政改革を進める基本的考え方 （2）行財政改革の推進体制と市民への公表		
No	ご意見	市の考え方
1	<p>市民向けにわかりやすく、市広報紙やホームページを通じて広く公表します。</p> <p>・・・のくだりですが、</p> <p>公表の仕方に一つ捻りが必要では？誰に？何を？</p> <p>・どの世代に向けて？</p> <p>→広報を見ない世代に広報案内は難しい・・・Twitter？赤磐市のライン公式アカウント？</p> <p>→HPを見たことがない世代にサイトでの案内は難しい・・・ゴミステーションに貼り出し？</p> <p>その情報を欲しい人が受け取れるメディア？媒体での告知方法の見直しが必要なのでは？</p>	<p>いただきましたご意見のとおり、“広報を見ない世代”や“ホームページを見たことがない世代”など、市民の皆様には多様なライフスタイルがあり、市としましても、受け手の環境や状況に応じた情報提供方法について検討しております。</p> <p>今年度行った市民アンケートでは、市の情報を得る方法として「広報紙・パンフレット」が8割を超えている一方で、特に30代以下では、ホームページやSNSの充実を求める回答が多くなっていることが分かりました。</p> <p>今後も、デジタルコンテンツを充実させていく一方で、デジタルではない方法も大切に考えながら、柔軟に対応してまいりたいと考えております。</p>

No	ご意見	市の考え方
2	<p>第2次総合計画の理念である「つながり」「うるおい」「にぎわい」「あんしん」の各分野に、行財政改革で生み出した財源を                  ……のくだりですが、</p> <p>市の簡易的な事務処理業務などを外注して、子育て世代や退職後短時間在宅勤務などを希望する方に振るのはどうなのでしょう？</p> <p>職員さんがしなくてもいいような業務                  ……データ入力                  ……テープおこし                  ……投稿データアップ作業                  ……宛名シール貼りなどの手作業のもの（プライバシー契約を結ぶなどして）                  ……絵画等の展示は得意なママさんにお任せして素敵な展示にしてもらおうなど市民（人材）の得意（特技）をうまく使う！</p> <p>↓                  潜在人材の利活用（あかいわのタカラボ？とか）シルバー人材センターの全世代版とか？</p> <p>↓                  がんこ親父も時には必要！！</p> <p>「アクティブシニア teacher による算数教室とか」                  「おじいちゃんに教える IT 若者 teacher とか」</p> <p>世代を超えた異世代コミュニケーション的要素も含まれお互いに持ちつ持たれつの関係で。</p>	<p>市民の皆様にご得意分野の力を発揮していただきながら、市の仕事を担っていただくという発想は、大変有意義で、まさに「人“いきいき”まち“きらり”」という、総合計画で赤磐市が目指している将来のまちの姿につながるものです。</p> <p>既に、地域の方々に子どもの見守りを行っていただいたり、百歳体操で仲間作りをしていただいたり、世代を超えたコミュニケーションが地域の活力の源になっている好事例もありますので、今後も楽しみや生きがいを感じて参加していただけるボランティア活動などを増やしていきたいと考えております。</p>

9 ページ 4 主要施策 (1)「ひと」「組織」の開発

No	ご意見	市の考え方
3	<p>分かりやすい情報提供を心がけます。 とは？</p> <p>分かりやすい情報提供をお願いします。 現状なかなか分かりにくい？&amp;探しにくい情報になっているような気がします。 そのため情報をうまくキャッチできない人が周りにたくさんいます。 素敵な情報を見逃さないためにも、情報提供システムの見直しをお願いします。</p> <p>世代に応じた？媒体で？・・・若者をターゲット案件にはツイッターとか？ 高齢者世代にはポスティングとか？</p>	<p>市が提供したい情報をより多くの皆様に受け取っていただくため、対象者に応じた媒体の選択や提供方法を工夫してまいります。</p> <p>また、現在、市の公式 Twitter や Facebook のほか、子育て世代に向けたアプリの導入やコミュニティFM放送での情報発信なども始めておりますので、これらの周知と内容の充実を図ってまいります。</p>
4	<p>職員は、自分の携わっている仕事に関する知識を十分に持つことは当然のこととし、前例主義や縦割り主義にならず、常に一步前に入る気構えを持ち、今までのやり方を変えて改善するための仕事をクリエイティブに提案・実践していく能力を持てるよう、自己研鑽に努めます。</p> <p>・・・のくだけで、 そのためにも外部講習や協働事業を増やして市民の意見を盛り込みつつコミュニケーション能力、クリエイティブ力を高めつつ業務を進めるのもお互いに良いのでは？ 新人研修の一環として協働事業を進めるとか？行政と市民の両方を体験してみる研修？</p>	<p>職員の能力を高めることは極めて重要なことであり、職員研修の一環として、コミュニケーション能力やクリエイティブな発想力を高めることができる協働事業への参加を積極的に検討してまいります。</p>

11 ページ 4 主要施策 (3)「民間活力」の導入		
No	ご意見	市の考え方
5	<p>自分のことは自分で守るという自助の意識、地域で支え合うという共助の意識を高め、仕組みづくりに必要な、NPO、協働組織の育成に努めるなど、協働のまちづくりを推進します。</p> <p>→ここが一番重要なところかなと思います。自分たちで考え自分たちで動くのが当たり前の地域運営というか人ごとではないという当事者意識が必要不可欠。助け合いが大事なかなと。</p> <p>→民間＝団体？というイメージ？個人レベルでも案件によっては参加できる！というシステムが望まれる？</p>	<p>自助・共助については、特に市民おひとりおひとりの考え方が重要ですので、個人でも気軽に参加できるような協働事業を考えてまいります。</p> <p>また、防災面では、自主防災組織の育成も推進しており、市民の皆様にご理解ご協力いただけるよう取り組んでまいります。</p>
6	<p>ボランティア組織の・・・は、小さい頃からの意識が必要なので、小さい子どもから参加できるボランティア組織の設立？が必要？</p> <p>あんなお兄さんになりたい！という目標とするちょっと先の先輩がいない現状。</p> <p>タカラ（隠れた人材）の持ち腐れの市にはなりたくない！</p> <p>タカラがザクザク埋まっているはず！</p> <p>市役所にサブ市役所的な外注組織を設けて、そこで事務的処理を行うことで本来の業務に専念できるのでは？</p> <p>業務の断捨離&amp;IT化</p> <p>提出するだけのために、わざわざ本庁に出向く→PDFで送信！など仕分けというか、業務の断捨離を徹底的に進めるとシンプルに市役所の担当業務が行えるのでは？</p> <p>サブシルバー？</p> <p>ゴールド世代に注目！な気がします。</p> <p>元気な団塊の世代が持っているスキルを今のうちに伝授してもらおうというか、再度活躍してもらおうというか、とても大事な世代だと思います。</p>	<p>市役所の仕事の範囲を見直すことは、行財政改革の大きなテーマであり、市民の皆様のお力を発揮していただくことで成り立つ業務もありますので、それぞれの世代に応じたボランティア意識の醸成を図ってまいります。</p> <p>また、ボランティアセンターを運営している赤磐市社会福祉協議会とも連携しながら、市民の皆様のお力を地域の活動に活かす取り組みも充実させてまいります。</p>